

No. 1178

道路を守る

#190
2ry

—宮城・仙台—

8月7日、土曜日、晴のちくもり、西多賀小学校 4年1組 阿部真理
仙台の町もその近くの町もまい年きれいになってきました。仙台バイパスや東北自動車道もできて車はたいへん便利になりました。でも道路にはゴミがいっぱいです。

道路清掃説明会

「ただいま道路を守る月間です。8月いっぱい全国的に行われています。当市でも老人クラブ、町内会の御賛同を得まして、道路の空カン、ゴミ等を処理するはこびとなりました。今日は本当に御苦労さまです」
今日まちのおじいさんたちが道路や町をきれいにしようと掃除をしていました。空カンやゴミくずを見て私は悲しくなりました。みんなで道路にゴミや空カンを投げないように気をつけなければならぬと思いました。道路や町はみんなのたからものだからです。おじいちゃんやおばあちゃんたちにこんなことをしてはいけぬと思ひながら手にもっていたジュースのカンを見つめました。

東京湾の夏

260
(1178) → #

東京湾の歴史は埋めたと汚染の歴史であった。こんな中で多くの漁民が海を捨てていった。
現在、6つの漁業組合と1000人の漁民が残っているだけである。今日は舟宿として5代続いた縄定さん一家の海水浴。縄定さんにとって東京湾は漁をし、泳ぎ、もぐり、たわむれた生活と憩いの場であった。ヘドロで黒くにごり、PCBの汚染で汚れた東京湾。この東京湾が今、かつての美しい、海水浴のできる海をとりもどしつつある。今日収獲されたアサリは縄定さん一家の食卓をにぎわした。ワタリガニも豊漁だった。子供たちはこの日の記憶を体にしっかりと刻み込み、東京湾の夏を忘れ去ることはないだろう。